

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター



第174号 2018年11月15日

だより

開館時間：午前9時～午後5時（月曜日：休館）

住所：〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話：0538-39-3022 FAX:0538-39-3023



冬鳥の季節がやってきた！

最初にカモたちの姿を見かけたのは10月中旬。その後は数が増えて、沼の周囲を歩くと「グァーグァー」と元気な声が聞こえてきます。北国に雪が降る頃には、さらに多くのカモたちが冬越しに集まってくることでしょう。

毎年、桶ヶ谷沼や鶴ヶ池にやってくる冬鳥のことをもっと知りたい！！

そこで、静岡県渡り鳥研究会の北川捷康^{かつやす}さんから主にカモについてお話を聞きました。



11月中旬の桶ヶ谷沼の様子

Q. カモたちはどこからやってくるのですか？

A. ここに来るカモのほとんどは、ロシア生まれだと思います。

Q. なぜ遠くからやって来るのでしょうか？

A. 真冬でも水面が凍らず、エサが豊富にあるところを目指してくるのです。



稲刈りのあとの田んぼ

Q. カモはいつ、何を食べているのでしょうか？

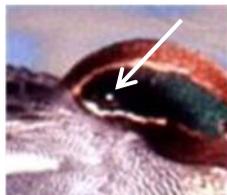
A. カモは夜行性なので、暗くなると沼から飛び立ってエサのあるところへ行き、夜が明けると沼へ戻って来ます。エサは稲刈り後のモミや水草などです。

Q. カモはいつ寝るのでしょうか？

A. カモは集団でいて、昼間水面やアシの間で各自7～15秒くらいの間隔で寝起きを繰り返します。常に誰かが起きていて、天敵のオオタカやハヤブサから身を守る方法です。



目を開けている状態



白い点が目



目を閉じている状態



白い部分がまぶた

くちばしを背中の羽毛につっこんで休んでいるコガモ (写真提供：北川捷康さん)

Q. 水鳥以外の小鳥はどんなものを食べますか？



ヤマハゼ

A. 小鳥にとって木の実が秋・冬の大切な食物です。
ヤマハゼには、ヒヨドリ・メジロ・イカルなどがやってきます。
エゴノキの実などをヤマガラが啜っていくのは、冬の間のエサ不足に備えて秘密の場所に隠しに行くのです。
また小鳥たちは、道に落ちたドングリが車にひかれ人に踏まれて中身が細かく砕けたものをついばみに来ます。

冬鳥のこと…もっと知りたい人は1月20日の野鳥観察会にぜひご参加くださいね！

アカトンボ通信

稲刈りが終わった田んぼでは、何組ものアキアカネのオスとメスが連結したまま飛んできて

産卵する姿が見られました。

11月中旬になっても、風のない暖かな日には、午前中から昼過ぎまでその光景を見ることができました。



自然とのふれ合いを

※参加は無料です
申し込みはビジターセンターへ
(電話：0538-39-3022)

《行事予定》

◎ 環境にやさしい工作教室

- * 日程 12月16日(日) 9:30~11:30 (受付9:00~)
- * 場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター視聴覚室
- * 内容 自然を材料にした工作を行います
- * 持ち物 作った作品を持ち帰る袋



◎ 野鳥観察会

- * 日程 1月20日(日) 9:30~11:30 (受付9:00~)
- * 場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター視聴覚室と野外
- * 内容 野鳥の説明を受けたあと、マガモなどの観察をします
- * 持ち物 メモ用紙・帽子・野外活動のできる服装

◎ 冬の昆虫観察会

- * 日程 2月3日(日) 9:30~11:30 (受付9:00~)
- * 場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター視聴覚室と野外
- * 内容 桶ヶ谷沼周辺の樹木に巻いた「わらまき」をはずして、冬越しをしている昆虫の観察をします

◎ いきもの研究発表会

- * 日程 3月24日(日) 9:30~11:30 (受付9:00~)
- * 場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター視聴覚室
- * 内容 桶ヶ谷沼のトンボや植物などを研究・調査している学校や研究者による研究発表を行います

※参加対象は、すべて一般です (小学生以下は保護者同伴でお願いします)